



## 6月のおすすめ 戦うカイツブリ

この時期の不動の主演はカルガモの親子ですが、これと並んで面白いのはカイツブリの縄張り争いです。ネイチャーセンターの正面では、毎年数組のカイツブリのペアが縄張り争いを繰り広げるのですが、去年は最も多い時で同時に4組が争っていて、大変な騒ぎになっていました。さて、今年はどうな戦いが見られるでしょう？

### 2022年4月13日～5月16日に見られた鳥

キジ、(コブハクチョウ)、コハクチョウ、ヨシガモ、カヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、マガモ×アイガモ、マガモ×カルガモ、カルガモ、ハシビロガモ、オナガガモ、亜種コガモ、亜種アメリカコガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、ミコアイサ、カイツブリ、ハシロカイツブリ、キジバト、カワウ、ゴイサギ、アオサギ、亜種ダイサギ、亜種チュウダイサギ、チュウサギ、コサギ、バン、オオバン、アマツバメ、ムナグロ、ダイゼン、コチドリ、メダイチドリ、セイタカシギ、ヤマシギ、オオシシギ、タシギ、オクロシギ、オオソリハシシギ、チュウシャクシギ、ツルシギ、アカアシシギ、コアカアシシギ、アオアシシギ、オハシギ、クサシギ、タカアシシギ、キアシシギ、ソリハシギ、イツギ、キョウジョシギ、トウネン、ウスラシギ、ハマシギ、アカエリヒレアシシギ、スズロカモメ、クロハラアジサシ、ミサゴ、トビ、ハイロチュウヒ、オオタカ、カケシ、チョウゲンボウ、ハヤブサ、モズ、ハシホリガラス、ハシブトガラス、ヒバリ、イワツバメ、コシアカツバメ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、オオヨシキリ、セッカ、コムドリ、ムドリ、クロツグミ、シロハラ、アカハラ、ツグミ、ノゴマ、ルビータキ、シヨウビータキ、ノビータキ、キビータキ、スズメ、亜種タイワンハクセキレイ、亜種ハクセキレイ、タヒバリ、カラビワ、ベニマシコ、ホシヅロ、アオジ、シベリアジュリン  
**合計: 92種類・亜種3種類、交雑個体 2**

※下線太字は注目の鳥、( )は外来種。



ネイチャーセンター前にやってきたトウネン  
2022/4/28 撮影

## 今月のNEWS

### ホープタウンさまから 寄付金を賜りました

2022年4月15日に、株式会社ホープタウン様から寄付金を賜りました。この寄付金は、羽毛製品をリサイクルするグリーндаウンプロジェクトにより得られたものです。ホープタウンさまと、羽毛製品の回収にご協力いただきました皆様に、心よりお礼申し上げます。



寄付金を贈呈頂いた、株式会社ホープタウンの副社長さま(右)と神谷館長

### コハクチョウの吉田さん旅立つ

4月6日から園内に滞在していた、飛べないコハクチョウ「吉田さん」は、5月11日に姿を消しました。おそらく、本拠地の安来に帰ったのでしょう。また来年の春に来園してくれることを期待します。

# 6月のイベント情報

水鳥公園のイベントの参加には入館料が必要です。  
表示があるものを除き、会場・集合場所は水鳥公園ネイチャーセンターです。  
下記の催しは、とっとり県民カレッジ連携講座です。  
新型コロナの状況によっては中止となる場合があります。

## 4月27日(水)～6月2日(木)まで ※開館時間中いつでも 第12回「園児が描いた鳥の絵展」

内 容：幼稚園児が描いたかわいい鳥の絵を展示しています。  
会 場：ネイチャーセンター観察ホール壁面



## 6月11日(土)13:30～15:00 ※5/27(金)9:00から受付開始 自然観察会「野鳥の子育てを観察しよう！」

内 容：園内で子育てに励んでいる鳥たちの様子を観察します。  
対 象：小学生以上がおすすめ。定員12名・要予約



## 6月12日(日)13:30～16:30 ※5/27(金)9:00から受付開始 手作り自然教室「カエル工房 in 米子水鳥公園！」

内 容：プロのレプリカ職人をお招きし、本物そっくりなカエルのレプリカを作ります。

講 師：カエル工房

対 象：小学生以上先着8組16名・要予約

参加費：500円



セイタカシギ



オオヨシキリ



ゴイサギ

## お申し込み・お問い合わせ先：米子水鳥公園ネイチャーセンター

〒683-0855 鳥取県米子市彦名新田665 TEL:0859-24-6139 FAX:0859-24-6140

<http://www.yonago-mizutori.com>

●開園時間：9:00～17:30(11月～3月の土・日・祝日は、7:00から開園)

●入館料：高校生以上70歳未満：310円(年間パスポート1,500円)  
中学生以下および70歳以上：無料

●休園日：毎週火曜日(祝日を除く)および祝日の翌日(土曜、日曜を除く)  
12/29～12/31

